

環境まちづくり会報

32号

題字/福田博子 編集・発行/人間市環境まちづくり会議 2022年3月31日発行

ウイルスとSDGs

会長 木内 勝司



新 新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が蔓延し、全国では10万人を超え、連日どこかの都道府県で過去の最高数を超える新規感染者が出ています。一時は新規感染者が激減し、ほっとしたのも束の間、あれよあれよという間に第6波に巻き込まれました。

さて、そもそもウイルスとは何かといった疑問もあります。ウイルスは自らの設計図「ゲノム」(全遺伝子情報)とそれを包むタンパク質でできた殻からなり、細胞に感染しないと増殖できません。宿主を殺さず、宿主と共存するウイルスのほうに長期共存するといわれています。

事業報告

今年度も新型コロナウイルスの影響で、環境フェアや環境ウォーキングなど、会員や市民の皆さんと直接顔を合わせて活動する大きなイベントは中止となりました。

●第21回総会	5月書面開催 書面表決の結果①令和2年度事業報告、②同収支決算報告、③正副会長選任案、④令和3年度事業計画案、⑤同収支予算案の5つの議案全てが賛成多数で可決されました。
●運営委員会	12月16日 会議内容「会報の作成について」 3月22日 会議内容「総会について」
●ごみひろい隊	12月19日 豊岡コース 7月29日 宮寺公民館 講師:吉田 俊彦氏 テーマ「不老川の魚と生き物たち」(詳細は4ページ)
●環境市民講座	11月18日 久保稲荷公民館、11月29日 東町公民館 講師:増岡 伸一氏 テーマ「身近な環境から学ぶ自然界の仕組み」(詳細は4ページ) 12月10日 東金子公民館、12月15日 藤沢公民館 講師:川名 千鶴子氏 テーマ「環境にやさしいコーヒーの楽しみ方」

環境市民講座

身近な環境から学ぶ自然界の仕組み

11月18日・29日に久保稲荷公民館・東町公民館では「身近な環境から学ぶ自然界の仕組み」副題「狭山茶の自然栽培茶園とその周囲の自然環境」と題して、人間市内の景観としても身近な茶園を取り上げて日常の生活から自然に関心を持てるような内容で講座を開催しました。



有機茶園を見学中の来賓者

不老川の魚と生き物たち

採取したメダカ



生き物採取を行う参加者

7月29日に宮寺公民館にて開催された「不老川の魚と生き物たち」は屋外体験型の講座。産学で注意点を学んでから河川敷に移動し、タモ網による水生生物の採捕を行いました。この講座の目的は水辺の自然観察を通じて郷土愛を深めてもらうことです。かつては日本一汚いと言われた不老川。しかし今回の教室ではメダカ、沼エビ、アメリカザリガニなどが採取され、観察出来ました。河川に愛着を持ち、きれいにすることは、ゴミを減らし、海洋環境を良くすることに繋がっているのです。

(吉田 俊彦 記)

エコライフDAY活動
7月~9月 及び 12月~2月

実施
しています

ごみひろい隊活動
毎月第3日曜日
詳しくは、ホームページの「ごみひろい隊」をご覧ください

人間市環境まちづくり会議 検索 会員数393 (個人)

人間市環境まちづくり会議
事務局 人間市役所環境経済部環境課

TEL 04-2964-1111(代表) 内線 4221 または 4222
FAX 04-2965-0232
http://www.kankyo-iruma.net/

